

DAN



METROPOLITAN VOLUNTEER FIRE CORPS

荇原消防団本部

第52回東京都消防操法大会可搬ポンプ操法の部 荇原消防団準優勝!!

荇原第1～荇原第5地区



第52回東京都消防操法大会審査結果
可搬ポンプ操法の部

団名	タイム		総合減点	得点		
	行動・動作減点	タイム減点				
豊島消防団	68.0点	69.7	53.6	241点	92.0点	508点
志村消防団	64.5点	73.4	64.7	261点	92.5点	507.5点
牛込消防団	67.5点	70.8	57.5	291点	96.5点	503.5点
日本堤消防団	60.5点	84.8	57.9	431点	103.5点	496.5点
深川消防団	58.0点	68.4	53.0	211点	79.0点	521点
赤羽消防団	56.5点	72.9	58.3	311点	87.5点	512.5点
神田消防団	63.0点	69.5	51.6	221点	85.0点	515点
臨港消防団	50.0点	81.4	66.4	471点	97.0点	503点
成城消防団	53.0点	76.5	59.1	361点	89.0点	511点
蒲田消防団	46.5点	71.6	48.8	211点	67.5点	532.5点
荒川消防団	63.5点	70.1	53.4	231点	86.5点	513.5点
小岩消防団	54.0点	78.3	54.7	331点	87.0点	513点
赤坂消防団	80.0点	69.3	49.9	191点	99.0点	501点
荇原消防団	47.5点	66.0	51.2	171点	64.5点	535.5点
荇窪消防団	29.5点	70.1	50.7	211点	50.5点	549.5点

入賞は第24回大会以来の快挙!!

大会を支えていただいた皆様と選手の顔



令和6年10月26日(土) 東京都消防操法大会 準優勝の謝辞

荏原消防団 吉田敏一団長

荏原消防団長に就任してから半年が過ぎました。事務局、副団長、署長、課長に助けられ、いたらないことだらけですが何とか団長の職を全うできています。

そんな中、東京都消防操法大会準優勝することができ、出場した選手はよく訓練し頑張ってくれました。出場選手の平均年齢が高いのに、よく怪我なく訓練をやり切ったと思います。

訓練を支援してくれた方々にはありがとうございました。荏原消防団の士気が高い証であり、大いに誇れることです。やはり消防操法は消防団の基本活動なので欠かせないものです。消防操法大会の存続に賛否があります。私は上手に継承したいです。

東京都消防操法大会準優勝はすごいことであり、大変光栄なことでもあります。

まだまだ勉強不足な団長ですが、今後ともよろしく願っています。



大会待機場場で吉田団長の激励を受ける選手。

第四分団 林哲嗣分団長

このたびは、東京都消防操法審査会において、準優勝をすることができましたことは、署員の方々、各分団の方々そして選手のご家族の方々のご支援、ご協力の賜物と心より感謝申し上げます。

また審査会当日においても、たくさんの方々の熱きご声援をいただき、オール荏原の代表として、選手たちは心強かったことと重ねて感謝申し上げます。

約4か月の長期にわたる練習を、たくさんの方々の皆様のご支援、ご協力そしてご声援をいただきありがとうございます。

最後になりますが、長くて辛い練習に耐えた選手の皆様、本当にお疲れ様でした。準優勝おめでとうございませう。そしてありがとうございます。

指揮者 葛西武志副分団長

私は、前回出場した44回都大会で満足いく結果を残すことができませんでした。何とかもう一度都大会に出場して勝負したいという思いで消防団活動を続けてきました。

今回、準優勝という結果を収めることができた要因を考えてみますと荏原消防署隊と荏原消防団が一体となりチーム荏原として、手厚い支援をしてくださったこと、選手の意識が高く半年以上にも及ぶ訓練の出席率が高くほとんど皆、皆勤で訓練を積み重ねられたこと、家族の理解と協力が有ったことだと思っています。

操法の好きな指導者、仲間と掛け替えない時間を過ごすことができた。操法大会に関わって頂いた皆様に感謝しています。ありがとうございます。

一番員 小林秀登団員

この度は、第52回東京都消防操法大会におきまして準優勝をいただくことができました。練習の成果を発揮できたと自負しております。

暑い真夏の夜に、何度も繰り返し練習し、熱中症や自分の体力の限界との戦いが今年の夏の思い出となりました。数をこなすことで自信が付き、落ち着いて操法を行うことができました。

いかに速く動き、正確な規律を身につけ、姿勢を正し、全員のタイミングを合わせるか、考えながら修正の繰り返しです。上手くできた時の喜びは何にも代え難いものとなりました。

最後に、荏原消防団の先輩方、荏原署員の皆様、皆様のバックアップとご指導で操法に専念できる環境を用意していただき、誠にありがとうございます。

二番員 生井仁班長

都大会に向け、荏原消防団の代表として良い成績を残せるよう、酷暑の中、7月から約4ヶ月間チーム一丸となつて週3回の訓練を行ってきました。

都大会が終わった後は寂しさを感ずるほど訓練に向き合ってきました。選手全員で、動作を合わせるタイムミンクの取り方など、お互い努力し合い、また、二番員としては「スピード」と「規律」にこだわり試行錯誤の日々を過ごしました。その結果、満足できる良い成績を残すことができました。

この間、他分団の皆様、佐藤さんをはじめとする署員の皆様のご協力をいただき大変心強かったです。この場を借りて感謝申し上げます。ありがとうございました。

三番員 若林正晃団員

この度は、各分団の皆様や署の皆様のご支援ありがとうございます。私にとって初めての都大会でしたが、訓練の成果を出すことができました。これからも地域の防災の為に頑張っていきます。

四番員 安蔵繁陽副分団長

今回、長期にわたる訓練は何度も心の折れる事がありました。周りの選手・団員と共に一体となり訓練を重ね、他分団の方々、消防職員の方々のご支援・ご協力のおかげで都大会では準優勝という成績を残す事ができました。

荏原操法大会優勝、都大会の舞台に選手として挑戦できた事を嬉しく思います。

特に今年は分団の垣根を超えて一致団結し全力のサポートを行なってくれた全員に感謝です。たくさんの方々に支えていただき、ありがとうございます。



指：葛西副分団長、1：小林団員、2：生井班長、3：若林団員、4：安蔵副分団長、林分団長
補：飯田副分団長

消防団員募集

荏原消防団では、一緒に「我が町を守る」仲間を募集しています。

18歳以上、健康で荏原消防団管轄区域内に居住または勤務、通学している方。

お問合せ先：荏原消防団本部 品川区平塚三丁目16番20号

TEL:090-3993-4544(AM8:30~PM5:15)



ごみ・リサイクル通信

vol.
53

品川区清掃事務所

事業係

☎ 03-3490-7051
FAX 03-3490-7041

資源循環推進係

☎ 03-3490-7098
FAX 03-3490-7041

台風接近など、大雨や強風時の 資源・ごみの収集やしし方について

7月から10月にかけては、台風の多い季節となります。

台風の接近に伴い大雨や強風が予想される場合は、ごみ・資源の飛散や安全の理由から、可能な範囲で次回の収集日にお出しいただきますようお願いいたします。また、強風に備え、ごみ容器や資源回収コンテナ等の管理にもご配慮をお願いいたします。

排出される場合は、通常と同じく朝8時までにお出し下さい。



強風・荒天時であっても、ごみ・資源の収集は原則行いますが、天候や交通状況等により収集時間が大幅に変更となる場合もありますので、ご理解とご協力をお願いいたします。

災害時の大事なお知らせは、区ホームページなどで随時お伝えいたします。

台風や大雪などで警報が出たときなど、古着等の拠点回収が中止となる場合もあります。

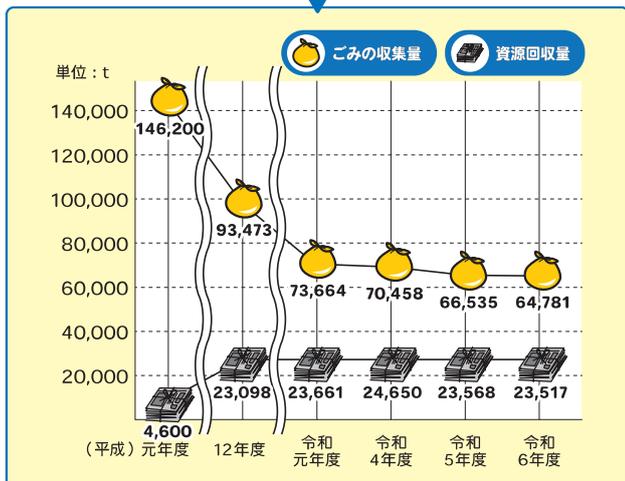
回 覧

品川区の清掃事業とごみ・資源量について

区では、清掃事業の主な取り組みとして、①住宅地での「ごみの各戸収集」②商店街地区の「ごみの早朝戸別収集」③資源プラスチック、乾電池、蛍光灯、水銀体温計等の「資源のステーション回収」④古着等の「拠点回収」(区内31カ所)⑤古紙等の「集団回収」の支援⑥小型家電の回収等を行っています。

皆さんがごみとして出している物の中にも、資源として使えるものはたくさんあります。3R(リデュース・リユース・リサイクル)をより一層意識して、持続可能(サステナブル)な社会をご一緒に目指していきましょう。

ごみ・資源回収量推移表



区民一人あたりのごみ量

(令和6年度)

	ごみ収集量			資源回収量	
	燃やすごみ	陶器・ガラス・金属ごみ	粗大ごみ		合計
総量	60,806t	2,052t	1,923t	64,781t	23,517t
区民1人1年あたり	157kg (令和5年度 163kg)			57kg	
区民1人1日あたり	431g (令和5年度 447g)			156g	

第十三期廃棄物減量等推進員を委嘱しました

区では、ごみの減量と適正な処理に関する熱意と見識を有する18歳以上の区民の方々の中から町会・自治会の推薦および公募により、廃棄物減量等推進員を委嘱しています。任期は2年で令和7年4月から第13期の活動が始まりました。



お問い合わせ

品川区清掃事務所 資源循環推進係



3490-7098

ペットボトルは、キャップとラベルを外して出しましょう

リサイクルするためには、素材が同一であることが重要です。例えばペットボトル・キャップ・ラベルは同じプラスチックでもそれぞれ素材が異なります。きちんとリサイクルするためには分別して出すことが重要です。

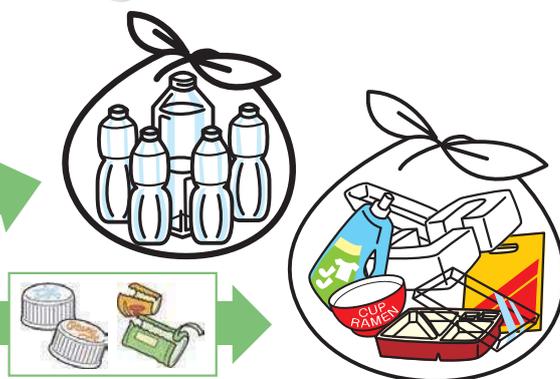
さっとすすぎ、ペットボトルのキャップとラベルを外して資源回収ステーションに出してください。「キャップ」と「ラベル」もリサイクルすることができます。ペットボトルと分けて「資源プラスチック」として中身の見える袋に入れて出してください。



はがす



すすぐ



生ごみはよく水気を切って出しましょう

夏場の生ごみは、特に水気をしっかり切ってから燃やすごみに出すようにしましょう。水分を含んだごみは大変腐りやすく、悪臭の原因となります。水気をよく切ることで、ごみの減量にもつながります。

「ごみ減量対策」「悪臭対策」「害虫対策」にご協力をお願いします。



お問い合わせ 品川区清掃事務所 事業係 ☎ 3490-7051



粗大ごみのお申し込みはお早めに

電話受付 品川区粗大ごみ受付センター（月曜日～土曜日（祝日含む）午前8:00～午後7:00、年末年始除く）

☎ 03-6733-5374

インターネット 品川区粗大ごみ受付センターインターネット受付システム

24時間受付 <https://shinagawa-sodai.com>

品川区粗大ごみ
インターネット
受付は
こちらから



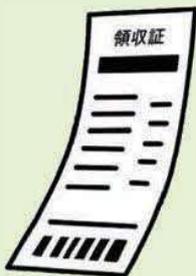
お問い合わせ 事業係 ☎ 3490-7051

資源に出されて困っています



雑がみ

レシート



燃やすごみに
出してください

回収された紙資源は、溶解する機械で1本1本の繊維になります。その際にレシートなどの感熱紙は特殊なインクを完全に取り除けず、発色して斑点が製品に現れる場合があります。そうすると再生品にならないだけでなく何百万円もの損害が発生します。

資源プラスチック

回収された資源はコンベアで流し、手で選別しています。資源プラスチックは中間処理施設で処理され再商品化されますが、中間処理施設の資源プラスチックの中から、次のようなものが回収されました。



ケガのおそれのある
刃物類



火災のおそれのある充電式電池を
内蔵した小型家電機器



電球類



夏によく利用されているハンディファンなどの充電式電池を内蔵した小型家電機器については、「陶器・ガラス・金属ごみ」で出すことができます。他の品目とは一緒にせず、充電式電池内蔵小型家電だけをまとめて「充電電池」と表示して、朝8時まで決められた場所に出してください。

工場や清掃車での事故や火災を防ぐため、
適正な分別にご協力をお願いします。

